

宮津与謝環境組合議会会議録

平成 30 年第 4 回（10 月）定例会

宮津与謝環境組合議会

平成30年 第4回 宮津与謝環境組合議会定例会議事速記録 目次

会期 1日間（10月24日）

1 付議事件一覧	1	
1 出席議員氏名	2	
1 欠席議員氏名	2	
1 説明のため出席した者の職氏名	2	
1 議事日程	2	
◎ 和田副議長の開会宣言	2	
※ 日程第1 諸報告	2	
※ 日程第2 会議録署名議員の指名	3	
※ 日程第3 会期の決定	3	
※ 日程第4 議第4号 平成29年度宮津与謝環境組合歳入歳出決算認定について	3	
○ 城崎管理者の提案理由説明	3	
○ 和田野事務局長の提案理由説明	4	
◎ 坂根議員の質疑	7	
○ 落合主任の答弁	7	
◎ 松本議員の質疑	7	
○ 和田野事務局長の答弁	7	
（討論なし）		
1 議第4号	— 認 定 —	8
※ 日程第5 議第5号 平成30年度宮津与謝環境組合一般会計補正予算（第1号）		8
◎ 松本議員の質疑		9
○ 和田野事務局長の提案理由説明		9
（討論なし）		
1 議第5号	— 原案可決 —	9
※ 日程第6 一般質問		9
◎ 和田副議長の閉会宣言		9

平成30年 第4回(10月) 定例会付議事件一覧

会期 1日間(10月24日)

事件番号	件名	議決年月日	議決結果
議第4号	平成29年度宮津与謝環境組合一般会計決算認定について	30.10.24	認定
議第5号	平成30年度宮津与謝環境組合一般会計補正予算(第1号)	30.10.24	原案可決

平成30年第4回 宮津与謝環境組合議会定例会議事速記録

平成30年10月24日（水） 午後1時52分 開会

◎出席議員（9名）

河邊 新太郎	渡邊 貫治	和田 義清
松本 隆	長林 三代	和田 裕之
永島 洋視	佐戸 仁志	坂根 栄六

◎欠席議員（1名）

安達 稔

◎議会担当職員

主任	落合 久志	主任	奥野 均
----	-------	----	------

◎説明のため出席した者の職氏名

管理者（宮津市長）	城崎 雅文	副管理者（伊根町長）	吉本 秀樹
副管理者（与謝野町長）	山添 藤真		
事務局長	和田野 喜一	事務局次長	沖 光博
事務局嘱託	西原 正樹	会計管理者	尾崎 吉晃
監査委員	稲岡 修		

◎議事日程

- 日程第1 諸報告
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 議第4号 平成29年度宮津与謝環境組合歳入歳出決算認定について
- 日程第5 議第5号 平成30年度宮津与謝環境組合一般会計補正予算（第1号）
- 日程第6 一般質問

（開会 午後1時52分）

○副議長（和田裕之） ただいまから平成30年第4回（10月）宮津与謝環境組合議会定例会を開会し、ただちに本日の会議を開きます。

本日、安達稔さんから欠席する旨届け出がありましたので、御報告をいたします。

日程第1 「諸報告」であります。

監査委員から地方自治法第235条の2第3項の規定に基づく、一般会計の平成30年

度7月分、8月分及び9月分の例月出納検査結果報告書、並びに同法第199条第9項の規定に基づく、平成30年度定期監査結果報告書が提出されており、原文は環境組合事務局に保管しておりますので、随時、御覧おきを願います。

次に、7月26日に開催しました「ごみ処理施設整備工事の現地調査」に、議員9名を派遣いたしましたので、御報告をいたします。

○副議長（和田裕之） 日程第2 「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第74条の規定により、

河邊 新太郎さん、渡邊 貫治さん

を指名いたします。

以上のお二人に差し支えのある場合は、次の議席の方をお願いをいたします。

○副議長（和田裕之） 日程第3 「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。今定例会の会期は、本日1日間といたしたいと思っております。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（和田裕之） 異議なしと認めます、会期は本日1日間と決定いたしました。

○副議長（和田裕之） 日程第4 議第4号を議題といたします。

提案理由の説明を願います。 城崎管理者。

〔城崎管理者登壇〕

○管理者（城崎雅文） 本日は、平成30年第4回宮津与謝環境組合議会定例会をお願いいたしましたところ、議員の皆様には全員協議会に引き続きでお疲れの中、御出席をいただき厚くお礼申し上げます。

はじめに、広域ごみ処理施設整備に係る進捗等につきましては、先ほどの全員協議会で御説明申し上げましたように、7月豪雨による被災や、9月の度重なる台風の襲来等により、工事の全体工程に少なからず影響を受けたところでありますが、平成32年4月の実質稼働に向けて、事業者と連携を取りながら進めてまいりますので、よろしく願います。

さて、本定例会への提出議案でございますが、平成29年度宮津与謝環境組合歳入歳出決算認定について、さらに7月豪雨に係る災害応急対応工事や防災対策に係る測量設計委託などを含む平成30年度一般会計補正予算第1号の2議案を提案させていただきます。

それでは、ただいま議題となりました議第4号 平成29年度宮津与謝環境組合歳入歳出決算認定につきまして、御説明を申し上げます。

まず、平成29年度の主要な施策の成果であります、事業進捗と主要な事業につきましては、一つには、ごみ処理施設用地の表層地盤が年始めの大雪の影響により、著しく軟弱化したことから、基礎杭打ち工事を4カ月中断した表層地盤改良工事の実施であります。

二つには、造成地盤の地山部に出現した転石除去のため、工法変更の検討も含めた約6

カ月を要する転石除去工事であります。

三つには、9月の台風18号による豪雨による、隣接する林野部からの土砂等の流入被災に対する、応急対応と土砂撤去工事であります。

こうしたことから、平成30年度末稼働が、平成31年度末実質稼働の平成32年5月末竣工へと約1年遅延する見込みとなりました。

以上が29年度の主要な取り組みの概要でございます。

今後とも、全体工程の遅れについて、事業者と十分な連携を図りながら、計画通りの施設稼働に取り組んでまいり所存でございます。

この後、事務局から補足・詳細説明を申し上げますので、この上どもの御理解と御協力をお願い申し上げ、平成29年度決算について、認定賜りますようお願いを申し上げます。

また、補正予算につきましても事務局長から御説明申し上げますので、合わせてよろしくようお願い申し上げます。

○副議長（和田裕之） 和田野事務局長。

〔和田野事務局長登壇〕

○事務局長（和田野喜一） ただいま議題となりました議第4号 平成29年度宮津与謝環境組合歳入歳出決算認定につきまして、提案理由の詳細について御説明を申し上げます。

決算の概要につきまして、お手元に配付しております「宮津与謝環境組合の主要な施策の成果に関する報告書」で御説明を申し上げます。

1ページの「平成29年度一般会計決算の概要」を御覧ください。まず、業務の内容についてであります。

新たな広域ごみ処理施設の稼働に向けて、平成29年度に実施しました主な施設整備関係の業務としましては、先ほど管理者から御説明もありましたように、一つには、敷地造成工事が完成したのち、施設建設のための基礎杭打ち工事に着手しましたが、その直後の大雪で建設用地の表層地盤が著しく軟弱化し、重機による作業の安全性が確保できなくなったことから、基礎杭打ち工事を中断、表層地盤の改良工事を実施し、軟弱地盤を解消することで、作業の安全性の確保を図ることとしました。

二つには、表層地盤改良工事の事前の調査掘削を行ったところ、造成地盤より下の地山部分に転石が確認され、基礎杭打ちの障害となる事が判明したため、さらに転石の除去工事も実施することとなりました。

これらの追加工事によって経費の増大や工期の延長が避けられないことから、京都府、構成市町、請負業者との協議を重ね、経費負担の軽減策として転石除去工事を交付対象事業とするとともに、工事工程の見直しと変更の結果、工期が10カ月遅れる見通しとなりました。

なお、工事進捗について、表層地盤改良工事は6月に完成しましたが、転石除去工事中の9月には台風18号の豪雨により、隣地の林野部から建設用地へ土砂の流入が発生し、

工事が一時中断しましたが、転石除去の完了後に基礎杭打ち工事を再開し、11月には基礎杭の打設を完了したところであります。

以上が、平成29年度の主な業務概要であります。各業務の詳細につきましては、5ページから7ページにかけて記載しておりますので、御覧おきをお願いいたします。

次に1ページ下段の、決算の概要であります。

平成29年度の収支は、歳入総額13億6,773万1,948円、歳出総額13億6,425万6,844円、歳入歳出差引残額は347万5,104円で、実質収支額は347万5,104円であります。

歳入につきまして、歳入総額の主なものとしては、構成市町からの分担金8億3,796万9,000円で、歳入総額の61.3%、国庫補助金は5億1,282万6,000円で、歳入総額の37.5%を占めております。

歳出につきましては、その主なものは投資的経費(施設建設費)の13億2,799万6,000円で、歳出総額の97.3%を占めております。

次に、決算の内容につきまして、「平成29年度宮津与謝環境組合歳入歳出決算書」で御説明させていただきます。

まず、2ページ・3ページを御覧ください、歳入であります。

予算現額の歳入合計13億6,773万3,000円に対しまして、収入済額は13億6,773万1,948円であります。

次に歳出であります。4ページ・5ページを御覧ください。

予算現額の歳出合計13億6,773万3,000円に対しまして、支出済額は13億6,425万6,844円で、不用額347万6,156円となり、歳入歳出差引残額は347万5,104円、実質収支額についても同額の、347万5,104円であります。

次に、決算事項別明細書8ページ・9ページを御覧ください、歳入であります。

1款 分担金及び負担金 1項 分担金につきましては、収入済額8億3,796万9,000円で、構成市町の分担金として受け入れたものであります。分担金の割合につきましては、平成27年の国勢調査による人口割としており、その内訳につきましては、備考欄に記載のとおりであります。

次に、2款 国庫支出金 1項 国庫補助金につきましては、収入済額5億1,282万6,000円で、国からの循環型社会形成推進交付金を受け入れたものであります。

次に、3款 繰越金 1項 繰越金1,693万348円の内訳につきましては、繰越事業にかかる財源が821万8,000円、前年度決算剰余金が871万2,348円となっております。

次に、4款 諸収入 1項 組合預金利子につきましては、預金利子の収入済額4,765円となっております。

2項 雑入の収入済額は1,835円で、主なものとしては組合職員が加入する団体保険の手数料収入等であります。

続きまして、歳出につきまして御説明申し上げます。10ページ・11ページを御覧ください。

1款 議会費につきましては、議員報酬として14万6,000円を支出しております。

次に、2款 総務費 1項 総務管理費につきましては、予算現額3,711万4,000円に対しまして、支出済額3,567万888円となっております。

1目 一般管理費につきましては、組合職員と嘱託職員の人件費のほか、各種電算システム等の保守業務委託や構成市町からの派遣職員に係る負担金など、総務費に係る経費として3,566万1,888円を支出しております。

2目 公平委員会費は、委員報酬として9,000円を支出しております。

次に2項 監査委員費であります。

監査委員の報酬および旅費として12万8,276円を支出しております。

12ページ・13ページを御覧ください。

3款 衛生費 1項 清掃費 1目 施設建設費であります。予算現額13億2,900万2,000円に対しまして、支出済額13億2,831万1,680円であります。

主なものとしましては、ごみ処理施設建設工事に伴う設計施工監理業務、表層地盤改良工事、ごみ処理施設建設工事、さらに、須津・石川両地区の対策委員会への活動経費交付金など、施設整備に係る経費を支出しております。

次に、不用額の347万6,156円の主なものについて、御説明申し上げます。

まず、2款 総務費 1項 総務管理費 1目 一般管理費の負担金、補助金及び交付金の46万3,935円であります。

これは、構成市町からの派遣職員の給与負担金となっておりまして、給与改正および職員異動に対応するため、予算確保しておりましたが、結果として不用額となったものであります。

次に、4款 公債費 1項 公債費 1目 利子の償還金、利子及び割引料の60万円であります。

これは、施設建設工事費の支払いには国の交付金を充てることとしていることから、国からの入金時期が請負業者への支払期限に間に合わない場合に一時借入する、つなぎ資金の借入金利子として予算確保しておりましたが、結果として不用額となったものであります。

各業務の詳細につきましては、先に御説明申し上げました「主要な施策の成果に関する報告書」に記載のとおりであります。

15ページには「実質収支に関する調書」を、17ページには「財産に関する調書」を添付しておりますので、御覧いただきたく存じます。

最後になりましたが、監査委員から提出されております決算審査意見につきましては、別添のとおりであります。

以上、誠に簡単でございますが、平成29年度歳入歳出決算に係る提案理由の説明とさ

させていただきます。

よろしく御審議の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

○副議長（和田裕之） これより質疑に入ります、御質疑はありますか。坂根栄六さん。

○議員（坂根栄六） 一点お伺いいたします。循環型社会形成交付金ということで当初は国から事業費の2分の1くらいが補助されるとお伺いしておりますけれども、割合でいうと37.5パーセントになっています、半額といたしますか、しっかりと交付されているのかどうかお伺いします。

○副議長（和田裕之） 落合主任。

○主任（落合久志） 議員の御質問にお答えします。

今回の交付金につきましては、議員のおっしゃるとおり2分の1の部分もあるのですが、2分の1の交付率につきましてはエネルギー回収型施設、いわゆる焼却施設の方については2分の1ということになっています。

一方、リサイクル施設の方につきましては交付率の方が3分の1となっております、今回は焼却施設の2分の1とリサイクルの3分の1の交付金を合わせて受入れをしております、その関係で2分の1つまり50パーセントではなくて今回の37パーセントと50パーセントない交付率となっております。

また、内訳につきましては交付対象外のものも含まれておりますので、実質としましては歳出の実績イコール交付率という形にはなっておりませんが、議員のおっしゃられるしっかりとした交付については、受入れをさせていただいております。以上です。

○副議長（和田裕之） 他に御質疑はございませんか。松本隆さん。

○議員（松本隆） この平成29年度は大雪やまた転石除去、あるいは台風18号による土砂災害等を受けたわけですが、そのことにより1年ほど遅延したということで、それに掛った全体の追加工事予算といたしますか、そのあたりは如何ほどであったのかお伺いします。

○副議長（和田裕之） 和田野事務局長。

○事務局長（和田野喜一） 29年度の追加工事等に伴う項目と事業費等につきまして、御説明申し上げます。

まず一点は、表層地盤の改良工事でございます、表層地盤の改良工事に要しました金額は3,562万8,000円でございます。また転石除去工事でございますが、これについては5億1,300万でございます。

それともう一つが、台風18号に伴って土砂が流入したことに伴う、土砂撤去等につきまして410万円でございます。

○副議長（和田裕之） 他に御質疑はございませんか。

質疑なしと認めます。これで質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。本件に対し、反対その他の御意見はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（和田裕之） 意見なしと認めます。これで討論を終結いたします。
議第4号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決することに賛成の皆さんは起立を願います。

〔起立全員〕

○副議長（和田裕之） 起立全員であります。本件は、原案のとおり認定されました。

○副議長（和田裕之） 日程第5 議第5号を議題といたします。

提案理由の説明を願います。 和田野事務局長

〔和田野事務局長登壇〕

○事務局長（和田野喜一） 私から、ただいま議題となりました、議第5号 平成30年度宮津与謝環境組合一般会計補正予算（第1号）につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

平成30年度一般会計補正予算書の2ページと、お配りしております議案参考資料の平成30年度一般会計補正予算（第1号）事業等説明資料も併せて御覧ください。

今回お願いしております補正予算は、歳入歳出ともに347万5,000円を増額し、予算総額を13億718万9,000円とするものであります。

次に、予算の内容につきまして、事項別明細書により御説明申し上げます。

4ページを御覧ください。歳入であります。

3款 繰越金につきましては、平成29年度の決算剰余金として247万5,000円を計上しております。

次に、4款 諸収入につきましては、平成30年7月豪雨災害に対しまして、広域ごみ処理施設整備および運営事業を請負っております株式会社タクマ並びに株式会社タクマテクノスから頂戴いたしました、当組合への災害見舞金100万円を計上いたしております。

次に5ページを御覧ください。歳出であります。

2款 総務費につきましては、消耗品費7万3,000円、通信運搬費16万円、地方公会計支援業務委託料74万円を不用額として、それぞれ減額いたしております。

3款 衛生費につきましては、全員協議会にて御説明いたしました防災対策に係る測量設計業務委託料を260万円、平成30年7月豪雨災害の応急対策に要しました工事費350万円を新たに計上いたしております。

また、循環型社会地域計画支援業務委託料を120万円、土砂流入防止壁設置工事費45万2,000円を不用額として、それぞれ減額いたしております。

なお、新たに計上します二つの事業の610万円の財源は、不要となりました総務費の97万3,000円と衛生費の165万2,000円に前年度決算剰余金の247万5,000円、災害見舞金100万円を充てることにより対応することとしており、増額補正による構成市町からの分担金の追加はございません。

以上、誠に簡単ではありますが、提案理由の説明とさせていただきます。よろしく御審議の上、可決賜りますようお願い申し上げます。

○副議長（和田裕之） これより質疑に入ります、御質疑はありますか。松本隆さん。

○議員（松本隆） 一点、7月豪雨応急対策工事の関係なんですけれども、これ7月初旬に受けたということで考え方なんでしょうけど、より安心安全面やらまた工期のことを考えましたら、これは今回の補正予算というよりは専決で出した方が馴染むのかなと思うのですが、そのあたりの考え方について御答弁をお願いします。

○副議長（和田裕之） 和田野事務局長

○事務局長（和田野喜一） 今おっしゃった件です、既決予算の中で専決してやっても良かったのですが、前回の7月の時に、今回の7月豪雨に係るいろんな諸費用等につきまして、改めて御報告させていただくということで全員協議会等でお話しさせていただいておりましたので、とりあえず応急的な対応工事そのものは済ませておったのですが、今回合わせて補正予算対応ということでお示しをさせていただいたところであります。

御理解賜りますようお願いいたします。

○副議長（和田裕之） 他に御質疑はございませんか。

質疑なしと認めます。これで質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。本件に対し、反対その他の御意見はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（和田裕之） 意見なしと認めます。これで討論を終結いたします。

議第5号を採決いたします。

本件は、原案のとおり決することに賛成の皆さんは起立を願います。

〔起立全員〕

○副議長（和田裕之） 起立全員であります。本件は、原案のとおり可決されました。

○副議長（和田裕之） 日程第6 一般質問であります。一般質問の通告がありませんでしたので、以上で本日の日程は全部終了いたしました。

これで、本日の会議を閉じ、平成30年第4回（10月）宮津与謝環境組合議会定例会を閉会いたします、御苦労様でした。

（閉会 午後2時25分）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

宮津与謝環境組合議会副議長 和田裕之

会議録署名議員 河邊新太郎

同 上 渡邊貫治